

定例記者会見資料



| | |
|---------|--|
| ○日 時 | 平成 29 年 9 月 8 日 (金) 13 時 30 分～ |
| ○会 場 | 島根県立大学 本部棟 2 階 特別応接室 |
| ○会見者 | 清原正義 理事長・学長 |
| ○会見項目 | <p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 18 回 海遊祭の開催について …………… [資料 1] <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 回「石見の助産師不足を考える」シンポジウムの開催について…………… [資料 2] |
| ○資料提供項目 | <p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度 【自己推薦入試（総合評価型 AO 入試）】、【特別選抜】及び【編入学試験】の実施について …………… [資料 3] <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新学部設置認可について …………… [資料 4] |
| ○行事予定 | <p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度 春学期卒業式・学位記授与式 … 9 月 29 日 (金) 10:00～11:15 @本部棟会議室 <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度 春学期卒業式・学位記授与式 … 10 月 5 日 (木) 10:00～11:00 @大会議室 ・オープンキャンパス … 10 月 7 日 (土) 13:00～16:30 <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパス … 9 月 24 日 (日) 10:30～12:30 ※四大部対象 13:30～15:30 ※短大部対象 <p>【学外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根大学との連絡協議会 … 9 月 15 日 (金) 15:00～17:00 @島根大学 ・「地域フォーラム」基調講演 / コーディネーター 久保田准教授 … 9 月 16 日 (土) 13:00～16:30 @くにびきメッセ ・NIHU「北東アジア地域研究推進事業」NEAR センター拠点プロジェクト 第二回 国際シンポジウム … 9 月 19～20 日 (火・水) @東北師範大学【中国】 ・「教育を通じた地域振興」シンポジウム … 9 月 24 日 (日) 14:00～17:00 @みどり会館大集会室 (浜田市金城町) ・臥龍山への訪問 …………… 10 月 6 日 (金) ・第 5 回 中期目標有識者会議 … 10 月 11 日 (水) 13:30～15:00 @島根県民会館 |

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
 なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 企画調整室 TEL 0855-24-2201
 出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
 松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

島根県立大学
 マスコット
 キャラクター
 オロリン



※次回の定例記者会見は 平成 29 年 10 月 13 日 (金) 13:30 から開催予定です。

島根県立大学（浜田キャンパス） 第 18 回 海遊祭の開催について

1. 日時

平成 29 年 10 月 8 日（日） 10:00 ～ 17:00
平成 29 年 10 月 9 日（月・祝） 10:00 ～ 17:30

2. 会場

島根県立大学 浜田キャンパス（浜田市野原町 2433 番地 2）

3. 主催

島根県立大学総合政策学部学友会 第 18 回海遊祭実行委員会



4. メインテーマ

『Re:Light』

マスコットキャラクター「ニャンこう」

これまでの海遊祭よりさらに良いものにするため、今までにない新しい光で海遊祭を輝かしいものにしたいとの思いから、海遊祭実行委員会の学生が中心となり決定しました。

5. 内容

- **メイン企画**
後日ポスター等にてお知らせします。
- **主催企画**
あたまスカッと BINGO（ビンゴ大会）、That's Right!（チーム対抗クイズ大会）
歌唱戦線（カラオケ）、
名探偵ニャンこう ～怪盗ライトからの挑戦状～（スタンプラリー）
- **地域物産展**
まとば加工所、BB 大鍋、一期一会、シックスプロデュース 他
- **学外イベント**
和太鼓（雲州ひらた太鼓）、キッズダンス（江津パフォーマンスドール）、
石見神楽（追原神楽社中）

6. 特徴

浜田キャンパス学園祭「海遊祭」では、学生だけでなく、ご来場いただいた地域の皆様楽しんで参加していただくことを目標としています。実行委員会は、「今までに海遊祭にお越しいただいた方には新しい海遊祭を、初めての方には今後もお越しいただけるような海遊祭をお見せしたい」という思いを込めて準備活動を進めています。皆様のご来場をお待ちしております。

平成 29 年 9 月 8 日
島根県立大学 出雲キャンパス
担当：坂田、澤田（教務学生課）
電話：0853-20-0200

第 2 回「石見地域の助産師不足を考える」シンポジウムの開催について

1. 目 的

産科医、助産師が不足している現状において、医療機関は何を求めているのか、また、教育機関の果たす役割はどのようなものであるのかを双方向で検討します。

2. 日 時

平成 29 年 10 月 17 日（火）14:00 ～ 17:00

3. 場 所

島根県立大学 浜田キャンパス

交流センター・コンベンションホール（浜田市野原町 2433-2）

4. 主 催

島根県立大学 出雲キャンパス

5. 出席者（予定）

- ・大田市立病院／公立邑智病院／島根県済生会江津総合病院／浜田医療センター／益田赤十字病院
- ・島根県産婦人科医会会長 岩成 治氏／島根県看護協会会長 秦 美恵子氏／島根県看護協会前会長 春日 順子氏／島根県助産師会会長 加瀬部 洋子氏
島根県立石見高等看護学院 副学院長 宅野 真由美氏
- ・島根県総務部総務課私学・県立大学室／島根県健康福祉部医療政策課看護職員確保グループ／島根県健康福祉部健康推進課母子・難病支援グループ

6. これまでの経緯

平成 21 年 11 月 9 日に県立大学浜田キャンパス交流センターを会場に、第 1 回目となる「石見地域の助産師不足を考える」を開催しました。当時は、石見地域で深刻な助産師不足、看護師不足の状況があり、その中で県立の看護職養成機関として看護短大及び専攻科がどのような人材育成を行って行くべきかについて、医療機関からの状況報告をもとに議論を深めたところです。平成 21 年の時点とは石見地域の病院、看護職を取り巻く環境も変化してきており、第 2 回目の開催となる今回は医療機関の現状報告や意見を踏まえ、今後の助産師教育のあり方について双方向で議論を行います。

第2回 石見地域の助産師不足を考える ～医療機関、市町村と教育機関との連携～

日時 平成29年10月17日(火)14:00～17:00

場所 島根県立大学浜田キャンパス

交流センターコンベンションホール（島根県浜田市野原町2433-2）

内容

14:00～14:05 挨拶 公立大学法人島根県立大学 理事長 清原 正義

14:05～14:15 本学の助産師教育に関する実績報告 別科長 狩野 鈴子

14:15～14:45 講演 石見地域の周産期医療の現状

講師 島根県益田保健所 所長 中川 昭生 氏

14:45～15:35 現状報告

～医療機関の助産師の現状と教育機関に要望すること～

大田市立病院／公立邑智病院／島根県済生会江津総合病院

浜田医療センター／益田赤十字病院

15:50～17:00 意見交換

<上記医療機関に加え下記の方々も参加予定>

島根県産婦人科医会会長 岩成 治氏／島根県看護協会会長 秦 美恵子氏

島根県看護協会前会長 春日 順子氏／島根県助産師会会長 加瀬部 洋子氏

島根県立石見高等看護学院 副学院長 宅野 真由美氏

島根県総務部総務課私学・県立大学室／島根県健康福祉部医療政策課看護職員
確保グループ／島根県健康福祉部健康推進課母子・難病支援グループ

主催 公立大学法人島根県立大学

連絡先

* 内容に関すること…島根県立大学出雲キャンパス教務学生課

tel0853-20-0200 fax0853-20-0201

* 会場に関すること…島根県立大学浜田キャンパス総務課

tel0855-24-2200



公立大学法人
島根県立大学



平成 29 年 9 月 8 日
 島根県立大学アドミッション室
 担当者／松崎・有藤
 TEL0855-24-2203

島根県立大学総合政策学部（浜田キャンパス）
平成 30 年度 自己推薦入試（総合評価型 A0 入試）の実施について

1. 試験概要

本学を志願する者に対して、能力・適性、学習意欲、目的意識を総合的に判定する選抜を行うため、自己推薦入試（総合評価型 AO 入試）を実施します。この試験は平成 27 年度入試より実施しているものです。

2. 募集人員 75 人

3. 出願資格

次の各号をすべて満たす者とします。

- (1) 平成 28 年 3 月から平成 30 年 3 月までに高等学校もしくは中等教育学校の後期課程を卒業した者及び卒業見込みの者、または同期間に通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び修了見込みの者
- (2) 合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- (3) 学業成績の全体評定平均値が 3.5 以上の者

4. 試験日程

| 項 目 | 日 程 |
|------------|---|
| 出願期間 | 平成 29 年 10 月 16 日(月)～平成 29 年 10 月 20 日(金) |
| 総合課題 | 平成 29 年 11 月 4 日(土) |
| 個別面接 | 平成 29 年 11 月 4 日(土)～平成 29 年 11 月 5 日(日)の内、指定した日 |
| 大学入試センター試験 | 平成 30 年 1 月 13 日(土)～平成 30 年 1 月 14 日(日) |
| 合格発表 | 平成 30 年 2 月 7 日(水) |
| 入学手続期間 | 平成 30 年 2 月 8 日(木)～平成 30 年 2 月 14 日(水) |

5. 選抜方法

総合課題、個別面接及び大学入試センター試験と提出された書類（志願理由書、出身学校の調査書）により、能力・適性、学習意欲、目的意識、表現力等を総合的に評価し、判定します。

まず募集人員の 45 人を島根県内の高等学校等からの受験者から成績順に選抜し、次に募集人員の 30 人を島根県外の高等学校等からの受験者及び 45 人の選抜枠に入らなかった島根県内の高等学校等からの受験者から成績順に選抜します。

以 上

平成 29 年 9 月 8 日
島根県立大学アドミッション室
担当者／松崎・有藤
Tel0855-24-2203

島根県立大学総合政策学部（浜田キャンパス）
平成 30 年度 特別選抜の実施について

1. 実施する特別選抜の区分

- ・社会人入試
- ・帰国子女入試
- ・私費外国人留学生入試

2. 募集人員 各区分とも若干名

3. 出願資格

- ・社会人入試

社会人としての経験を 5 年以上有する者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 23 歳以上に達する者であって、次の各号のいずれかに該当する者とします。この場合、定時制、夜間、通信制以外の学校の在学期間は社会人の経験期間に含めません。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定（第 6 号を除く）により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

その他詳細及び他の募集区分についての出願資格は募集要項で確認してください。

4. 試験日程

| 項目 | 日程 |
|------|--|
| 出願期間 | 平成 29 年 10 月 16 日(月)～平成 29 年 10 月 20 日(金) |
| 試験日 | 平成 29 年 11 月 4 日(土) |
| 合格発表 | 社会人入試及び帰国子女入試：平成 29 年 11 月 24 日(金) 私費外国人留学生入試：平成 30 年 1 月 29 日(金) |

5. 選抜方法

小論文試験（英語力を見る問題を含む）や個別面接を実施し、出願書類の内容と合わせて総合的に評価し合否を決定します。なお、私費外国人留学生入試にあっては、日本留学試験や小論文における日本語力も評価の対象とします。

詳細は必ず募集要項で確認して下さい。

平成 29 年 9 月 8 日
島根県立大学アドミッション室
担当者／松崎・有藤
Tel.0855-24-2203

島根県立大学総合政策学部（浜田キャンパス）
平成 30 年度 編入学試験の実施について

1. 試験概要

本学部への 3 年次編入学を希望する方を対象に編入学試験を実施します。

2. 募集人員 10 名程度

3. 出願資格

平成 27 年 4 月 1 日以降に TOEIC スコア 400 点以上取得し、学業成績の全体評定平均値が 3.5 以上の者とし、短期大学を卒業した者または平成 30 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者とします。

なお、その他出願資格詳細は募集要項で確認してください。

4. 試験日程

| 項目 | 日程 |
|------|---|
| 出願期間 | 平成 29 年 10 月 16 日(月)～平成 29 年 10 月 20 日(金) |
| 試験日 | 平成 29 年 11 月 4 日(土) |
| 合格発表 | 平成 29 年 11 月 24 日(金) |

5. 選抜方法

次の (1) ～ (2) を総合的に判定します。

まず募集人員の 5 名を島根県内の短期大学からの受験者から成績順に選抜し、次に募集人員の 5 名以内をその他の受験者及び 5 名の選抜枠に入らなかった島根県内の短期大学からの受験者から成績順に選抜します。なお、小論文試験及び個別面接試験のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

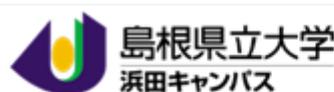
(1) 社会科学の素養を問う総合問題（小論文試験）（英語力を問う問題を含む）の成績【配点 100（うち英語力を問う問題は配点 50 とする）】

なお、英語外部検定試験の成績によって、英語力を問う問題の配点を超えない範囲で下表のように加点を行います。

| 加点する点数 | TOEIC |
|--------|--------|
| 10 | 550 以上 |

※TOEIC スコアは平成 27 年 4 月 1 日以降に取得したスコアとします。

(2) 個別面接試験の成績【配点 100】



公立大学法人島根県立大学のアドミッション・ポリシー

—入学者受け入れ方針—

本学は、教養教育科目及び専門教育科目を体系化したカリキュラムを学生に提供することにより、本学のディプロマ・ポリシーに掲げる学士力を備え、国際的な視野に立ち、地域課題に実践的に対応できる人材を養成しています。

求める学生像は次のとおりです。

- 幅広い基礎的な教養、学力を持つとともに、自分の考えを適切に表現できる人
- さまざまな課題に積極的に取り組む意欲と行動力を持ち、自らを高めようと志す人
- 北東アジアをはじめとするグローバルな社会や地域社会で活躍したい人

島根県立大学総合政策学部のアドミッション・ポリシー

—入学者受け入れ方針—

島根県立大学総合政策学部は、次のような4つの教育理念を掲げて教育を行なっています。

- (1) 主体的に問題を発見・整理し、適切な解決策を提示できる人材の育成
- (2) 豊かな教養を持ち、1つの問題に対し多角的にアプローチできる人材の育成
- (3) 国際的な視野から思考し、直面する問題に対して実践的に対応できる人材の育成
- (4) 国際化・情報化に対応したコミュニケーション能力を備えた人材の育成

このような教育理念のもと、本学部では、時代の要請に応えるため日々教育内容の充実に努めており、平成19年度には、2年次からの少人数の演習科目である『総合演習』を学修の核として位置付け、大幅なカリキュラム改定を行ないました。この『総合演習』は、「国際関係」「北東アジア」「社会経済」「地域政策」という4つのプログラムの中から1つを選択して履修する科目であり、将来の進路を見据えて系統立てた学修を進めるとともに、本学部での「学びの集大成」として充実した卒業研究を行なうことを目標とするものです。

上記の教育理念と教育の特色を踏まえて、本学部では次のような学生を求めています。

- ・ 島根県立大学総合政策学部の教育理念と教育内容を十分に理解し、本学部において期待される人材となるべく、必要とされる基礎学力とともに、自らを成長させようとする高い勉学意欲と適性を有している人
- ・ 社会の動きに対して積極的な関心を持ち、そこに見られる諸問題を広い視野の中での確に把握し、多角的なアプローチによってその解決策を考えてみたい人
- ・ 社会科学・人文科学を中心とした幅広い分野の学問を学ぶとともに、「国際関係」「北東アジア」「社会経済」「地域政策」のいずれかについてさらに深く学んでみたい人
- ・ 知識の習得にとどまらず、「豊かな人間性」を育み、実践的な問題発見・解決能力とコミュニケーション能力を鍛え、社会人として求められる資質をバランスよく向上させたい人
- ・ 本学部での学びを自らの生き方と関わらせ、積極的に今後のキャリア形成に活かしていこうとする人

入学後に本学部の教育理念に基づく学修に取り組むにあたって、日頃から世界全体の出来事や地域社会、時事に関心を持っていることが重要です。現状の問題点や課題を自ら発見し、その解決策を提示し実践するための創造的な思考力や、総合政策学部の学びに対し積極的な姿勢で臨む主体性を、高校生活等を通して養っておくことが必要です。また、本学部は社会科学・人文科学を中心としたカリキュラム編成を行なっていますので、国語・英語の2教科を中心に地理歴史・公民・数学などを幅広く十分に学習し、基本的な知識や読解力・表現力を身につけておくことも大切です。

浜田キャンパスで皆さんにお会いできることを、在学生、教職員一同期待しています。

平成 29 年 4 月

アドミッションセンター長
岩 本 浩 史



29文科高第483号

認 可 書

公立大学法人島根県立大学理事長

平成29年3月31日付けで申請のあった島根県立大学人間文化学部の設置を、
下記のとおり認可します。

ついては、施設、設備、教員組織等に関する設置計画は、申請のとおり確実に履
行してください。

平成29年8月29日

文部科学大臣 林 芳 正



記

- 1 名称、学部及び学科、収容定員、位置
裏面記載のとおり
- 2 修業年限
4年
- 3 開設時期、開設年次
平成30年4月1日、1年次
平成32年4月1日、3年次

| 大 学 名 | 学部・学科等名 | 入 学 定 員 (人) | 位 置 |
|--------|--|----------------|------------------|
| 島根県立大学 | 人間文化学部 保育教育学科 (3年次編入学定員) 地域文化学科 (3年次編入学定員) | 40 70 | 島根県松江市 4 3 |

「地域フォーラム」開催のご案内



～地域の中小企業の人材確保に向けて～

島根県内企業の大多数を占める中小企業。その中小企業の活性化なくして地域経済の活性化はありえないと言っても過言ではありません。しかし今、その多くが人材不足という共通した問題を抱え、このままでは地域経済へ大きな影響を与えることが懸念されています。「こんな魅力がわが社にはあるのに・・・？」そんな嘆きが聞こえてくる今、「産・官・学・労・言」各分野のパネリストと会場のみなさんとで「若者に対する地元企業の魅力発信」による人材確保策について考えたいと思います。奮ってご参加ください。



第一部

| | | | |
|-------------|-------|------------------|---------|
| 13:00～13:10 | 主催者挨拶 | 連合島根会長 | 仲田 敏幸 |
| 13:10～13:20 | 課題提起 | 連合本部事務局長 | 逢見 直人 氏 |
| 13:20～14:30 | 基調講演 | 島根県立大学総合政策学部 准教授 | 久保田典男 氏 |

第二部

| | | | |
|-------------|-------------|---------------------|---------|
| 14:40～16:30 | パネルディスカッション | | |
| | 〈コーディネーター〉 | 島根県立大学総合政策学部 准教授 | 久保田典男 氏 |
| | 〈パネリスト〉 | 島根県商工労働部長 | 安井 克久 氏 |
| | | 東洋ソーラー(株) 代表取締役社長 | 藤原 一美 氏 |
| | | 地元企業若手社員(入社3年以内) | |
| | | アースサポート(株)(島根県立大学卒) | 磯遊 遼太 氏 |
| | | 明石屋(株)(島根大学卒) | 嶋田 直人 氏 |
| | | 連合本部 事務局長 | 逢見 直人 氏 |
| | | (株)山陰中央新報社 取締役論説委員長 | 高尾 雅裕 氏 |

日時 2017年9月16日(土) 13時00分～16時30分

会場 くにびきメッセ 国際会議場

〒690-0826 松江市学園南一丁目2-1 TEL.0852-24-1111

定員 350名 〈先着順・事前申し込み不要〉



 主催: **連合島根・連合島根松江隠岐地域協議会**

お問い合わせ先 ▶ 連合島根松江隠岐地域協議会(担当: 錦織泰治) TEL.0852-21-8105

人間文化研究機構「北東アジア地域研究推進事業」
島根県立大学NEARセンター拠点プロジェクト
第二回国際シンポジウム2017

北東アジア — 胎動期の諸相

共催

日本側：島根県立大学北東アジア地域研究センター（NEARセンター）、国際日本文化研究センター
人間文化研究機構（NIHU）

中国側：東北師範大学歴史文化学院、東亜文明研究中心、社会科学処、国際合作・交流処

日程 2017年 9月 19日（火）～ 20日（水）

会場 東北師範大学（中国・長春）

◀ 9月 19日 プログラム ▶

●受付 9:00～9:30

●挨拶・趣旨説明 等 9:30～9:45

挨拶：韓東育（東北師範大学 教授）

挨拶：井上厚史（島根県立大学 教授）

趣旨説明：井上厚史

●第一セッション「認識—他者認識としてのアジア」 9:45～12:30

司会：石川肇（国際日本文化研究センター 助教）、討論：井上厚史（島根県立大学 教授）

S. チョローン（モンゴル科学アカデミー 教授）

東方に対するネルチンスク条約における「モンゴル」問題—占拠と解決

オルガ・セビナ（東北師範大学 教授）

未定

澤井啓一（恵泉女学園大学 名誉教授）※代読

儒教共栄圏の幻影—十七・十八世紀東アジアの「ジャポニスム」

黒住真（東京大学 名誉教授）

北東アジアにおける日本の「靈性」と近代

（昼食 12:30～13:30）

●第二セッション「統治理念」 14:00～18:00

司会：劉曉東（東北師範大学 教授）、討論：岡洋樹（東北大学 教授）

佐々木史郎（アイヌ文化博物（仮称）館設立準備室 主幹）

清朝のアムール支配の統治理念とその実像

ソドビリグ（内モンゴル大学 教授）

清朝の辺境統治理念の転換—禁墾から開墾へ

韓東育（東北師範大学 教授）

清朝による「非漢世界」に対する「大中華」表示：＜大義覚迷録＞から＜清帝遜位詔書＞まで
庄声（東北師範大学 准教授）

清代統治領域の地形の特徴と災害救助政策—東北南海環春河流域を中心に
眞壁仁（北海道大学 教授）

◀ 9月 20日 プログラム ▶

●第三セッション「交流—“人と物”」10:00～12:30

司会：李曉東（島根県立大学 教授）、娜荷芽（内モンゴル大学 講師）

討論：劉建輝（国際日本文化研究センター 教授）

森永貴子（立命館大学 教授）

ロシアと清の茶貿易—モスクワ、キャフタ、漢口の商人の視点から（仮題）

中村篤志（山形大学 准教授）

清朝治下モンゴルの駅舎網と人的移動

波平恒男（琉球大学 教授）

琉球人の近代西洋との最初の出会い—バジル・ホール著『朝鮮・琉球航海記』（1818）を中心に
石田徹（島根県立大学 准教授）

対馬宗家文書から考える「北東アジア」（仮題）

（昼食 12:30～13:45）

●総合討論 14:00～17:00

司会：井上厚史

討論：小長谷有紀（人間文化研究機構）、韓東育、劉曉東、黒住真、張寅性（ソウル大学）、黄克武
（台湾中央研究院）

●拠点会議（拠点関係者のみ） 17:00～18:00

●懇親会 18:30～

【9月行事予定】

教育を通じた地域振興 シンポジウム

日 平成 29 年
時 9 月 24 日(日)
14:00～17:00

14:15～15:15 特別公演

海士町長

山内道雄 氏

場 金城町下来原

所 みどり会館 大集会

15:25～15:55 活動報告

かなぎシェアハウス学生会

16:00～16:40 パネルディスカッション

主催 かなぎシェアハウス学生会

共催 島根県、浜田市、かなぎシェアハウス運営委員会

後援 島根県立大学、金城自治区まちづくり連絡会